

防犯対策の基本

岡山県倉敷市立北中学校 2年 掛谷 真衣



私は、一学期の保健の授業で犯罪被害の防止について学びました。

近年、犯罪の手口が巧妙化していて多くの中学生が被害に遭っているのは、駐車場などの学校以外の身近な場所であるということを学びました。

また犯罪を抑止するための三要素も学びました。

一つ目は、家や公園を外からも見えやすいフェンスで囲んだり、敷地の境界をはっきりさせたりすることで、領域性を高めることです。

二つ目は、夜道に街灯をつけたり、防犯カメラやセンサーライトを設置して、不審者の監視や犯罪の抑制に繋がったりすることです。防犯カメラを設置していれば、犯罪が起こった時に役立ちます。これらをすることで、監視性を高めることができます。

三つ目は、玄関や窓に二重鍵をつけたり、自転車のカゴにひったくり防止ネットを付けたりすることで、抵抗性を高めることができます。

私はこれらの三要素をポスターなどにまとめて、地域の掲示板などに貼ることで、地域の方々に、もっと防犯意識を高めてもらいたいと思いました。

そこでまずは、私が犯罪について知識を深めるために、犯罪にはどんな事例があるのかを考えてみました。

一つ目に思いついたのは、SNSでの個人情報の流出です。私も含め、同級生のほとんどが小学校高学年ぐらいから、スマホを持っています。インスタのストーリーなどに顔や名前や場所や、制服などの個人情報など容易に読み取りやすい写真を載せることによって、自宅や学校名を見知らぬ第三者に特定され、犯罪に繋がるのではないかと思います。

二つ目に思いついたのは、自転車の盗難です。私の通っている中学校では、自転車通学の人ほとんどです。しかし、鍵をかけずに、自転車を放置している人をたまに見かけます。

盗難防止のために鍵を抜いたかを確認したり、前カゴに貴重品などが残っていないかを確認することが大切だと思いました。

また、自転車に二重鍵をつけることで、抵抗性を高められるのではないかと思います。

三つ目に思いついたのは、知らない人からの勧誘や声かけです。私が小学校低学年の時、家の前で一人で遊んでいたら、知らないおじさんが、

「コンビニ、どこか教えてくれる？」

と聞いてきました。それで私が口頭だけで伝えると、

「よくわからないから、一緒にコンビニまで連れて行って。」
と言いました。その時ちょうど母が洗濯物を取り込みにベランダに出てきました。会話の内容を伝えたら、母がそのおじさんに、口頭で説明しました。すると、その人は、すぐに去っていきました。

この時の経験から知らない人に声をかけられた時には、すぐに周りの大人に助けを求めることが大切なのだとということを痛感しました。

四つ目に思いついたのは、SNSを悪用した詐欺です。まだそこまでSNSの詐欺について広まっていなかった時、母が危うくフィッシング詐欺にかかりそうになりました。宅配業者を装った不在通知のショートメールが来て、その時たまたまインターネットで買い物をしていたからです。

でもよく考えると、何かおかしいことに気づいたようで、引っかからずに済みました。

私も知らないところからのメールや、見覚えのない電話番号からの着信があったら、親に相談したり、ブロックなどをして、自己防衛をしたいと思いました。

これらの事例や、今までの経験を忘れずに、いざ犯罪や詐欺に巻き込まれそうになった時に、正しい行動ができるといいなと思いました。

まずは基本的な鍵をかけるというところから意識して、日々生活をしていきたいと思います。